

I. 人は世界をどうとらえるのか？ 認識論入門

A. K_____論と G_____論

α. FB_____ = _____(英)1561~1626

a. 主著『ノヴム＝オルガヌム』

b. 知は力

c. 真実を知るには I_____を排するべき

d. 実験・観察を繰り返し、経験を蓄積し、法則性を見出す

= _____法 → EK_____論

β. D_____ (仏)1596~1650

a. 主著『方法序説』

b. 論理で真実に迫る = _____法 → TG_____論

c. 一度すべてを疑ってみる (HTK_____)

d. 「WYW_____」

e. 一度は疑ったものももう一度認識されていく

主觀と客觀

SN_____ 「身」 → 空間的延長

B. 2つの流派のその後

γ. G論の論客 S_____ (蘭)1632~77

a. 心と体はどちらも神の様態の一つ

b. BH_____論

c. H_____論、SS_____

δ. K論から N_____論へ H_____ (英)1711~76

a. 人間は因果性を認識できない

創造、信念

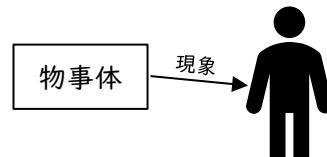
b. 人間の塊は「TA_____」

C. カント哲学

ε. N論の頂点 K_____ (独)1724~1804

a. 主著『純粹理性批判』(1781)

b. 認識が対象に従うのではない。対象が認識に従う。



(CTT_____)

① _____ 感覚によって減少を受け止める

↓

② _____ 受け取った現象を統合し、判断する←このとき概念を使う

- c. 私は信仰に場所をあけておくために知識を制限しなければならなかった
d. RR _____ と JR _____ の区別

D. 認識論から観念論へ

ドイツ観念論 カントの継承者？

RRとJRの分裂を克服→精神

人間の内面と外界との相互性→JG _____

- ζ. H _____ (独)1770~1831(フランス革命時代)

- a. 精神は自由を求める
- b. 精神は集団にも宿る
- c. 世界精神 / 絶対精神
- d. 世界史とは絶対精神が自由を実現していく過程である。→B _____ 法

弁証法

正 $\xrightarrow{\text{テーゼ}}$ 反 $\xrightarrow{\text{アンチテーゼ}}$ 合 $\xrightarrow{\text{ジンテーゼ}}$ ←止場 Aufheben

- e. 人間のコミュニティ = _____ (道徳+法)

第1段階 _____ 愛による結合。個人の自立はない

第2段階 _____ 自由・自立。欲望の体系、人倫

第3段階 _____ 人倫の最高段階。自由、安定を備える

- η. ヘーゲルの左派の人 M _____ (独)1818~83

- a. _____ ではなく _____
生産関係 上部構造と下部構造

- b. 弁証法 + フオイエルバッハ 論 = YS _____ (唯物弁証法)

E. 実存主義へ

- θ. 実存主義の祖 K _____ (デンマーク)1813~83

- a. 今、現実に存在している自分
- b. 「私にとっての真理であるような真理」

実存の三段階

_____ 的 → _____ 的 → _____ 的 ⇒ 「神の前の単独者」

i. 存在を問う H (独) 1889~1976

- a. 人間とは自分の存在を問うことができる生物だ
「ダーザイン Da sein」=現存在
- b. しかし人間は日常にまぎれ、世間に合わせて生きてしまう
(被投性 世界的内在) (存在忘却 ダス・マン)
- c. 「死」を思うことで、人は再び自分の生命を生きているという感覚を取り戻す（「死への先駆」）
→他人と交換できない存在の境界

κ. Sa (仏) 1905~1980

- a. MTJS の代表
- b. 人間においては「実存が本質に先立つ」
- c. 人間は「自由の刑に処せられている」
- d. 「人間は自らつくるところのものになる」
- e. H 論=_____, アンガシュマン

F. 自分とは何か？

西洋思想の底流にある自己の理性への信頼

19世紀末～ それへの疑問

λ. 先駆者 S (蘭) 1632~77

- a. 汎神論 神即自然
- b. 「飛んでいる石は、自分で飛んでいると思っている」→JI _____への疑問
- c. 人間の行い、原因、そのさらに原因→JI はない。むしろ必然
- d. 必然を自覺的に生きる

μ. 言語学から Sa (スイス) 1857~1913

- a. 言語学から歴史を追放した→言語の構造
- b. 自然界の諸物にラベルをつけるように名をつけるのではない
- c. 人間は言語で世界を区分けし、意味づける

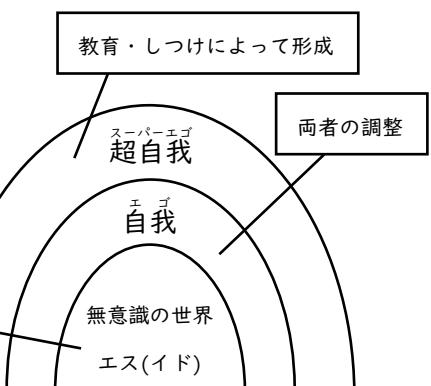
「_____の_____」

- d. 一度形成された言語は人の世界観を規定する

ν. 精神医学の祖 F (オーストリア) 1856~1939

- a. 三者のバランスが崩れる
→不安が生じる→自我防衛(抑圧、反動形成、投射、昇華)

動物的衝動(_____)がある



ξ. フロイトの弟子 J _____ (スイス) 1875~1961

- a. フロイトが個人を対象としたのに対し、STM _____ に注目
- b. その中で出てくる一連の象徴的イメージ「元型」
グレートマザー、オールドワイズマン、アニマ/アニムス
- c. リビドーの方向を基準に人間を外向/内向に分け、
さらに4つの要素をかけて8タイプのパーソナリティに分類

ο. 文化人類学者 LS = (仏) 1908~2009

- a. 未開人の婚姻形態（特に交叉イトコ婚）の分析で名声を得て、構造主義人類学を打ち立てる
一般交換 / 限定交換
- b. 人間の思考や行動は、無意識的かつ社会的に形成された「構造」に規定される
- c. その限りにおいて、未開社会が西洋文明より劣っているとは言えない

π. ポスト構造主義 Fo (仏) 1926~84

- a. 構造主義の発想を使い、人間の理性を分析
- b. 人間社会の各時代の「知の枠組み（_____）」
昔…類似
17世紀～…比較…排除
19世紀～…「人間」←認識の主体としての人間
- c. その後、Foは権力の分析に向かう
- d. 権力とは人間の中から働く（生権力、規格化）
- e. これらは人間の幸せという面もあるが、暴走するときもある
- f. 社会規範に従うだけでなく、自分独自の生を構築せよ！

G. アメリカの哲学 ~プラグマティズム~

ρ. P (米) 1839~1914

- a. 自然科学の方法を哲学に導入
- b. 観念や意味は、_____ (プラグマ) に落とし込むことで検証される

σ. J (米) 1842~1910

- a. 何が真理であるかは、それが各人の思考の中で有効であるかどうかによる

τ. D (米) 1859~1952

- a. P _____ を実践の思想として発展させた
- b. 知性は真実の探求のみでなく、日常生活の問題や環境に適応するための道具である
(DS _____ 、 STT _____)
- c. _____ → _____ → _____
- d. その点で、知識や理論は仮説であり、多様さや柔軟さが大切 ←民主主義

H. フランクフルト学派 ファシズムと向き合った思想家たち

フランクフルト学派 “第一世代”

v. A _____ (独) 1903~1969

ϕ. H _____ (独) 1895~1973

- a. 1924 創設のフランクフルト大学 社会研究所に集った学者たち
- b. 「アウシュヴィッツのあと、詩を書くとは野蛮である」(A)
- c. 科学技術は人間の理性から生み出されたが、やがて理性がそれに従属し、目的的達成だけを考えるようになった

↓

こうした傾向は、自然界の支配だけでなく、
人間を技術的に管理・操作できるという思想を生んだ (DTR _____)

↓

こうして生まれた、画一的な管理社会は F _____ を生んだ

↓

理性の道具化を押しとどめるには、物事への批判的な切り込みを大切にすることが鍵になる
(HTR _____)

x. はぐれフランクフルト学派 F _____ (独) 1900~1980

- a. 主著『自由からの逃走』
- b. 人類が追い求め実現した自由は、味わってみれば孤独なものだった

↓

これから逃げたくなった人々は、権力者と一体化し、
弱者を排撃するような心性を身につけていく (KSTP _____)

ϕ. フランクフルト学派第二世代 H _____ (独) 1929~

- a. 主著『コミュニケーション的行為の理論』
- b. 人間には DTR もあるが、CTR _____ もある
対象を支配→システム 対話・合意 生活世界
- c. システムによる SS _____ の植民地化こそ現代の病理である
- d. 近代は挫折したのではなく、未完のプロジェクト
対話による公共性の再建！

ω. HA = _____ (独→米) 1906~75

- a. 主著『全体主義の起源』『人間の条件』

- b. 人間生活の三要素

_____	Labor 生存
_____	Work 作品をのこす
_____	Action ことばで他者と交流し、公共空間をつくる

- c. 現代では Labor が肥大化し、Action がやせ細りがち

→ K _____ の喪失、K _____ への盲従